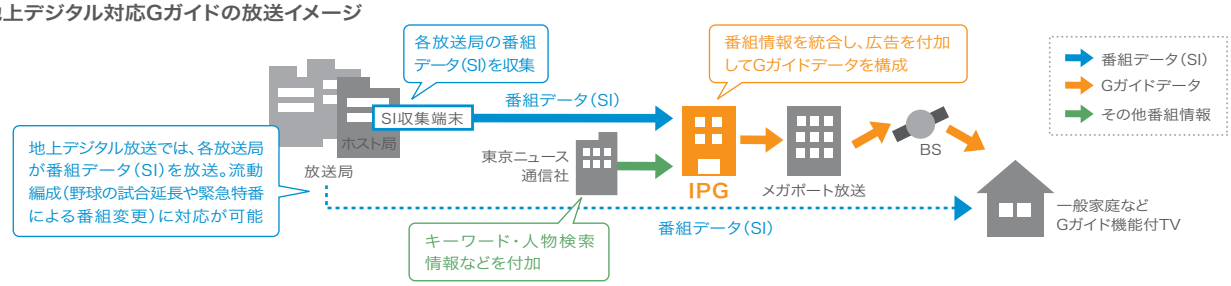
http://www.ipg.co.jp/press
G-PRESS
2004.8.27 | VOL.25

アテネ特集 第3弾

Gガイドが地上デジタル放送に対応 オリンピック開催に先駆け、7月より提供開始

オリンピック開催に約1カ月先んじ、7月14日よりスタートした、地上デジタル放送対応Gガイド。これにより、地上アナログ・BSデジタル・110度CSデジタルと合わせ、計4種類の放送に対応したEPGが揃いました。

■地上デジタル対応Gガイドの放送イメージ



この動向にいち早く着目し、地上デジタルGガイドに対応したのが松下電器産業。そのキーマンでもあるVIERAシリーズ開発・商品企画担当の西口史郎氏に、今回お話をうかがいました。

松下電器さんは、常に新しいGガイドモデルを積極的に市場投入されていますが、その理由を教えてください。

我々松下電器が基本戦略として進めているのが「デジタル&薄型」なのですが、そうした時にEPG(電子番組表)は、どうしても不可欠なものという認識が以前からありました。一人でも多くの方にEPG機能を知って、使っていただきたいという思いがあり、デジタルの前段階として存在したアナログ対応の商品機能を含め、早期よりGガイドモデルの投入を積極的に推進してきたわけです。

ご存じの通り、アメリカでは日本よりもひと足早く、TVがアナログ時代から多チャンネル時代へ移行しています。現在では既にアメリカにおけるEPGの需要は大きく、多数のユーザーに認知され、受け入れられています。そうした事実を鑑みても、今後の日本におけるTVの視聴スタイルが変われば、EPGもより多くの人々に認知され、迎えられていくだろうという確信がありました。実際、デジタル化の進行に伴い、多チャンネル化は急速な勢いで進んでいます。現在のDVDレコーダーやデジタルTVの質や発展性、さらに今後の展開を考えますと、日本はアメリカ以上に急進的な発展を遂げている部分が多々あるようです。デジタル放送の普及につれ、EPGはより一層日本のライフスタイルに浸透していくのではないでしょうか。

私自身は、1980年代頃からアメリカでEPGに関わっていますが、多チャンネル時代になりTVの視聴スタイルが変わってくると、新聞のラテ欄が見づらいと感じるようになりました。それ以前から、EPGの機能は存在しており、便利だなと注目もしていたのですが、アメリカでのビジネスをきっかけにEPGと接するようになり、その存在価値を真に実感するに至りました。

我が国でも多チャンネル時代に本格的に突入した今、EPGは観たいテレビ番組を探しきれない悩みを解決する機能として、ますます広く普及すると思います。

アテネ目前に地上デジタル対応となったGガイドに関して、どのように位置づけていらっしゃいますか？

“デジタルTV=EPG付き”というイメージは、既にかなり定着していますよね。ですから我が社としては、常に業界内で他社に先駆け新しいものを出していきたいという思いがあります。

Special Interview

西口 史郎 Shiro Nishiguchi

松下電器産業株式会社　LCDテレビ ビジネスユニット　ビジネスユニット長

1980年、松下電器産業(株)に入社。91年にアメリカへ赴任、テレビの営業及び商品企画に携わる。2000年に帰任後も、引き続き国内海外の商品企画を担当。2003年より現役職に就任、今に至る。

今後は放送・通信なども視野に入れた幅広い視点から、より良いEPGを我々からも提案していきたいですね。

おかげさまで市場では、パナソニックの商品には全てEPG機能が付いているというイメージが、ユーザーにも浸透してきているようです。これはやはり、いち早く新しい構想に取り組んできたという実績が、大きかったのではないかなと思っています。今後は、新しいEPGの使い勝手に関して、放送対応という視点から是非一緒に作っていきたいですね。

アテネオリンピックは、やはり我が社が今まで着実に積み重ねてきた「デジタル&薄型」というイメージを、確固たるものにする絶好の機会だと考えています。特にVIERA(ビエラ)については、昨年に発表した第一弾に続き、今年はさらにその地位を不動のものにしたいという思いがあり、その戦略として、オリンピック開催の8月より前の6月に、新製品を13機種一気に市場に投入しました。さらに、オリンピックのオフィシャルスポンサーを発表し、店頭などでは"オリンピックをVIERAで見よう"というキャッチフレーズで広報活動にも熱を入れた販促展開を行いました。

EPG自体は、DVDレコーダーのDIGA(ディーガ)シリーズと合わせて訴求できる利点があるため、我々もオリンピックシーズンが最大の商戦と認識しています。この機会に、パナソニックならではの使い勝手の良さを訴求しつつ、さらにはポストオリンピックに向けたアクションも視野に入れて取り組んでいるところです。

Panasonic TH-32LX300

■VIERAについてのURL
http://viera.jp/

今後も、各社から続々と対応モデルが投入されそうですが、御社がEPGまたはGガイドに期待するものは?

これからデジタル放送がさらに一般化されると、チャンネル数は増えますし、使い方もより複雑になることが考えられます。また、放送だけでなく通信からもいろいろな情報が入りますし、他の機器とネットワークの連携も進んでいくと思います。EPGが今後、これらをスムーズにつなぐ役割となってくれることを大いに期待しています。内容もどんどん進化していってほしいですね。我々メーカーも、より良いEPGとなるための提案を積極的に行っていくつもりです。

G News

地上デジタルGガイド&ブルーレイ対応 ハイビジョンに強い「DMR-E700BD」登場!

デジタル放送の拡大に伴い、ハイビジョン番組を高画質のままでディスクに残せるDIGA最上位機種「DMR-E700BD」が、松下電器より発売されました。

世界初※1、片面2層記録50GBのブルーレイディスクに対応した本機は、ハイビジョン番組約4.5時間※2、地上アナログ放送最長約63時間※3もの長時間録画を実現。また、世界初の※4地上・BS・110度CSデジタル/地上アナログチューナーを内蔵し、Gガイドも全放送に対応しています。

Panasonic DMR-E700BD

■DIGAについてのURL http://diga.jp/

※1:2004年6月30日現在 ※2:50GBブルーレイディスク、ストリーム記録モード、BSデジタル放送(24Mbps)録画時
※3:EP6時間モード録画時 ※4:2004年6月30日現在 ブルーレイディスクレコーダーとして

G Info

アテネ情報も配信中! さらに充実の「トピックス」

Gガイド「トピックス」では、新しい情報を随時配信中。アテネオリンピックの注目選手・競技を紹介するメニューは、開催期間だけの限定配信としてお送りしています。また、新登場のTSUTAYA online では、毎週話題作・新作DVDの情報が満載。これからも進化する「トピックス」に、ご注目ください。

▼ 現在のラインナップ

- オリンピック・注目の競技!! (東京ニュース通信社)
- 必見!! 今週のTV情報 (東京ニュース通信社)
- TSUTAYAおすすめDVD (TSUTAYA)
- とくする映画&音楽 (ぴあ/カミングスーンTV)

発行:(株)インタラクティブ・プログラム・ガイド TEL:03-3544-2811 e-mail:press@ipg.co.jp

G-GUIDE®